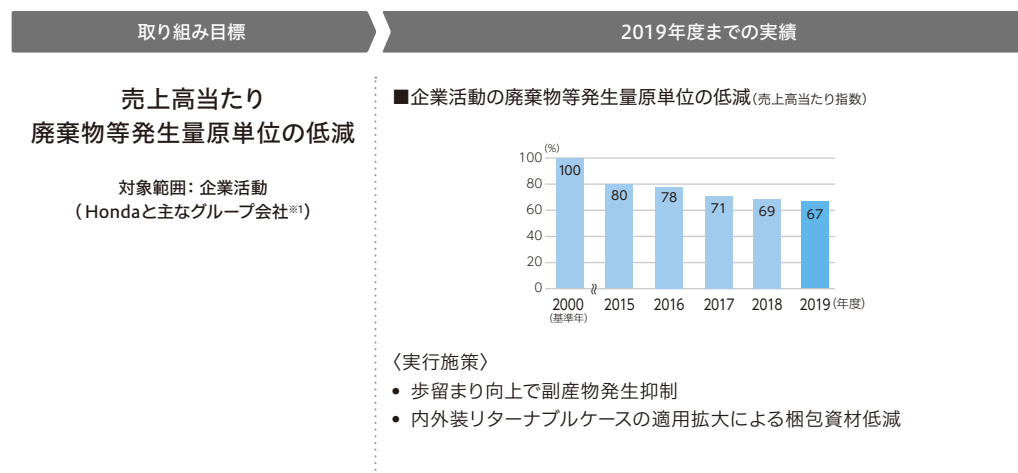


資源の効率利用

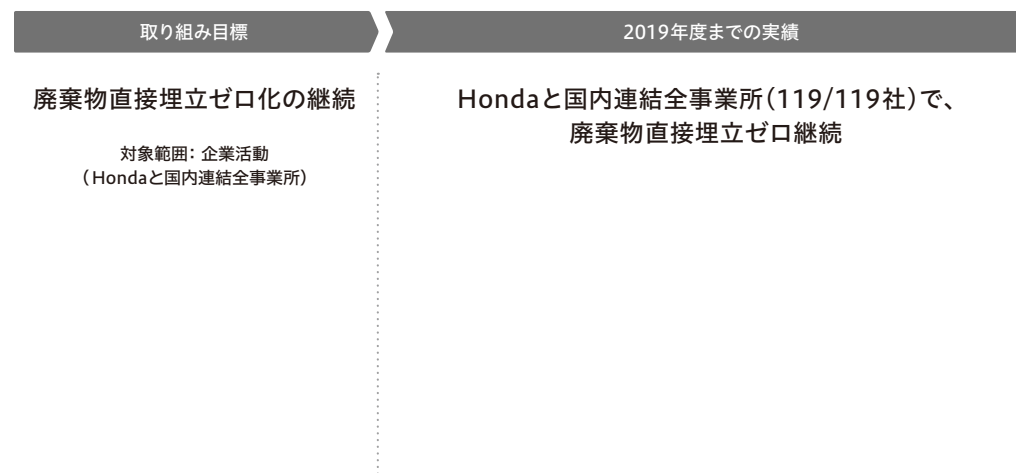
企業活動に関する取り組み

Hondaは2019～2021年度の環境取り組み計画において、資源の効率利用に関しては、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる進化を進めていきます。

[2019年度～2021年度 環境取り組み計画 目標と実績]



※1 Hondaと主なグループ会社：本田技研工業(株)と(株)本田技術研究所、ホンダエンジニアリング(株)、(株)ホンダアクセスの範囲



資源の効率利用

水資源の保全

Hondaは自社の企業活動が上流・下流の水資源に影響を及ぼす可能性を認識し、「水資源の保全」にも注力しています。

取水量を管理するとともに、排水については水質管理を徹底し、水質検査の結果を開示するなど十分な管理と適切な情報提供に努めています。また、水使用量の最小化に向けて、各事業所でリサイクル水の活用や節水など地域の事情を踏まえた取り組みを推進しています。

[2019年度～2021年度 環境取り組み計画 目標と実績]

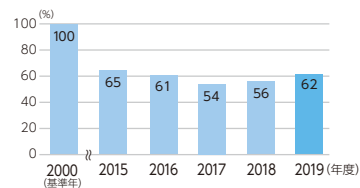
取り組み目標

売上高当たり 水資源使用量原単位の低減

対象範囲: 企業活動
(Hondaと主なグループ会社※1)

2019年度までの実績

■企業活動の水資源使用量原単位の低減(売上高当たり指数)



〈実行施策〉

- リサイクル水の拡大
- 節水活動の推進継続

※1 Hondaと主なグループ会社: 本田技研工業(株)と(株)本田技術研究所、ホンダエンジニアリング(株)、(株)ホンダアクセスの範囲